

# こねっと

Vol.1



干し柿づくり（湊地区）

## 支え合いの地域づくりを進める話し合いの場 『第2層協議体』の活動が始まっています！

- 今回は市内8地区の取り組みを紹介
- 生活支援体制整備事業 Q&A

こねっととは…「こねる」と「ネットワーク」（つながり）を組み合わせた造語で、地域が混ざり合うことでたくさんのつながりが生まれるようにとの想いが込められています。こねっとでは、市内の「支え合い情報」や「生活支援情報」のほか、地域のみなさんの頑張りを発信していきます♪

どうもねー！が響き合うまち 石巻

# 地域が混ざり合う 協議体の色々な力たち

もう一歩踏み込んで地域を知ることから始めよう！

「地域にはまだ知らないことがたくさんある」「役職ごとのつながりはあるけど横のつながりが無い」という声から、地域資源を把握し、つながりを広げることから始めました。

まずは、児童館や障害者施設の見学やイベントに参加し、地域資源との接点を作ったことで多様なつながりが生まれました。また、介護保険の勉強会を企画、高齢者の暮らしの困りごとを共有したこと、「近所同士で助け合えることがもたらせるかもね」と、「ちょっとお助け隊」についての話し合いも始まっています。

今後、「身近なところで、それぞれが出来ることから取り組んでみよう」と、暮らしの知恵をたくさん持ち寄りながら話し合いを進めていきます。お助け隊の活躍が聞ける日も、そう遠くないかもしれません。



●主なメンバー 11名  
町内会長、民生委員児童委員、主任児童委員、元民生委員児童委員、地域サロン活動者、老人クラブ会員、復興住宅住民、防災士、僧侶、地域包括支援センター職員



担当  
コーディネーター  
杉浦有紀

## 「住み良し！だより」住吉ならではの情報を発信。

いつまでも地域で生き生き暮らしていくための話し合いを重ねる中で、「地域の中でつながる良さを広めていきたい」といった声から、広報紙『住み良し！だより』を作成し情報発信に取り組んでいます。

創刊号は、これまで取り組んできた学校を基盤とした世代間交流事業を掲載。第2号は「地域活動・町内会行事・学校・地域の昔話」をテーマに、メンバー自身が取材しながら地域を知ることの大事さや楽しさを発信していくこととしています。

今後は、広報紙以外のつながるきっかけづくりとして、「行けば誰かに会える」をコンセプトに、世代を超えてみんなが集える居場所について話し合っていく予定です。



●主なメンバー 11名  
町内会長、民生委員児童委員、主任児童委員



担当  
コーディネーター  
伊藤善和

## 集いの場「地域の力」で暮らしの困りごとの解決へ。

山下地区協働のまちづくり協議会包括ケア部会での意見交換の場を協議体として位置づけています。これまで『高齢者のペット問題・見守り活動・サロン活動』について話し合いを持ち、今年度はコロナ禍の集いの場づくりについて取り組んできました。

サロン団体代表者と保健師、地域包括支援センターなどの専門職と一緒に『サロン交流会』を企画し、活動状況や課題の共有を図りました。交流会では、「備品を貸し合おう」「合同サロンを企画してみよう」など活動者同士が互いに助け合う姿も見られ、横の連携を強化することで、担い手側の負担を軽減出来ることが見えてきました。

今後も地域が持つ力を大切に、暮らしの困りごとをみんなで解決出来ることを目指していきます。



●主なメンバー 14名  
山下地区協働のまちづくり協議会  
包括ケア部会（民生委員児童委員、

福祉協力員、地域サロン活動者）



担当  
コーディネーター  
佐藤文博

## 守りたいのは、稲井の自然と人の優しさ。

何を大切にしていきたいかを軸に話し合いを進めてきました。その中で、地域の魅力である自然、そこに住む人の笑顔や感謝の気持ちを大事にしながら、「みんなが伝統のある稲井を守っていこう」という想いを共有し『自然と笑顔と感謝の心みんなで守ろう稲井の地』というスローガンが決まりました。

「他の行政区の状況をあまり知らないね」「まずは自分たちが地区を知ることが必要」という声から、まずはみんなで調査し、地区情報を集めることから始めています。

今後は、集まった情報を整理し、地域で取り組めることは何かをみんなで考えていく予定です。



●主なメンバー 10名  
区長、民生委員児童委員、保健推進員、福祉協力員、地域サロン活動者



担当  
コーディネーター  
田口夢子

「わくわく通信」を全世帯に配布。伝えたいのは、支え合いの精神。高齢になっても生き生き、わくわく暮らせるまちづくりを目指し、自分たちの役割を整理することから始めました。

「一人ひとりの地域参加を応援する・今ある支え合い活動を大切にする・多くの機関と手をつなぐ」を活動のポイントとし、町内会の協力を得て、地域で活躍している人や支え合い活動を紹介します。『わくわく通信』を年3回、全世帯に配布しています。通信を読みサロン活動に参加するようになった方や、新たに会が立ち上がるなど、情報発信の効果を実感しています。また、釜小学校、民生委員児童委員協議会と連携し、一人暮らし高齢者へメッセージカードを届ける『わくわくレター活動』にも取り組んでいます。

今後も、誰もがわくわく元気に暮らせるよう支え合い活動の橋渡し役を担っていきます。



●主なメンバー 12名  
各町内会より選出（町内会長、民生委員児童委員、主任児童委員、福祉協力員、地域サロン活動者、老人クラブ会員、元教職員）、地域包括支援センター職員



担当  
コーディネーター  
及川里美

## 他の地区事例から「学び」を得て自分たちの役割を見出す。

「どのように会議を進めていけば支え合いにつながるのか、イメージを持ちづらい」という声から、他地区の協議体事例から学ぶことに重点を置き、「どんな場にしていくか」を話し合うことから始めました。

その結果、「協議体は地域づくり」「色々な課題の相談に乗れる協議体になれたら良い」「たくさん情報や知識を持とう」など、協議体の方向性が見えてきました。



今後は、「昔からのつながりが残っていることを大事にしていきたい」というメンバーの声を基に、取り組んでいくテーマを決め、河北の良さを活かした支え合いの形を見つけていく予定です。

●主なメンバー 14名  
行政委員、民生委員児童委員、僧侶、農協役員、商工会役員、老人クラブ会員、更生保護女性会会員、元市職員



担当  
コーディネーター  
鈴木麻千子

## 地域の様々な行事で交流、愛着の持てる地域づくりへ。

いつまでも暮らしやすい地域づくりをテーマに話し合う中で、「伝統行事を大事にし、地域への愛着心を育みたい」「昔のようにみんなで子育て出来るようになると良い」など、地域でつながり合って暮らしてきた良さを後世に伝えていきたいという声があがっています。

今後は、老人クラブで活発に行われているグラウンドゴルフやペタンク等を通じ、子どもたちとの世代間交流の場づくり『社会参加と健康づくり』について学んでいく予定です。

『近所みんな顔なじみ』そんな関係で、声をかけ合えるあったかいまちづくりを目指していきます。



●主なメンバー 11名  
行政委員、民生委員児童委員、教職員、商工会役員、福祉施設職員、ボランティア活動者、老人クラブ会員、市職員、まちづくり団体職員



担当  
コーディネーター  
佐々木佳洋

## 足から暮らしを考えよう！「市民バス体験会」を実施。

「運転ができなくなったら...ここでは移動の問題は切り離せないね」こうした声から、移動課題をテーマに話し合いをスタートしました。「実はバスに乗ったことがない」という人が多いと分かったことをきっかけに、今ある交通資源について話を深め『市民バス体験会』を実施。運行事業者の、おしかパブリックサービスさんにも協力をいただき、意見交換も行いました。



移動課題と言っても困っていることは人それぞれ。地域の資源を大切に、誰もが暮らしやすい杜鹿になるよう、今後は視察や勉強会を取り入れ、暮らしの課題について話し合いを進めていく予定です。

●主なメンバー 11名  
行政委員、民生委員児童委員、ボランティア活動者、福祉施設職員、職親会代表、商工会役員、市職員、元市職員



担当  
コーディネーター  
佐々木由布子

### 稲井地区 第2層協議体 名称検討中

### 山下地区 第2層協議体 山下地区ささえあい会議

### 住吉地区 第2層協議体 オール住吉 地域でつながる大作戦

### 石巻地区 第2層協議体 石巻地区ささえあい会議

### 釜・大街道地区 第2層協議体 わくわく会議

### 杜鹿地区 第2層協議体 杜鹿地区支え合い会議

### 北上地区 第2層協議体 北上ささえあい協議会

### 河北地区 第2層協議体 河北地区ささえあい会議

## 「生活支援体制整備事業」ってな～に？



第1層生活支援  
コーディネーター  
小松沙織

### Q 生活支援体制整備事業とは？

**A** 平成27年に改正された介護保険制度の中で、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、豊かな暮らしが実現できるように、地域での「助け合いや支え合いの推進」「多様な生活支援の充実」を目指すために創られた事業です。

### Q この事業では、どんなことに取り組むの？

**A** 主に2つの取り組みを進めています。

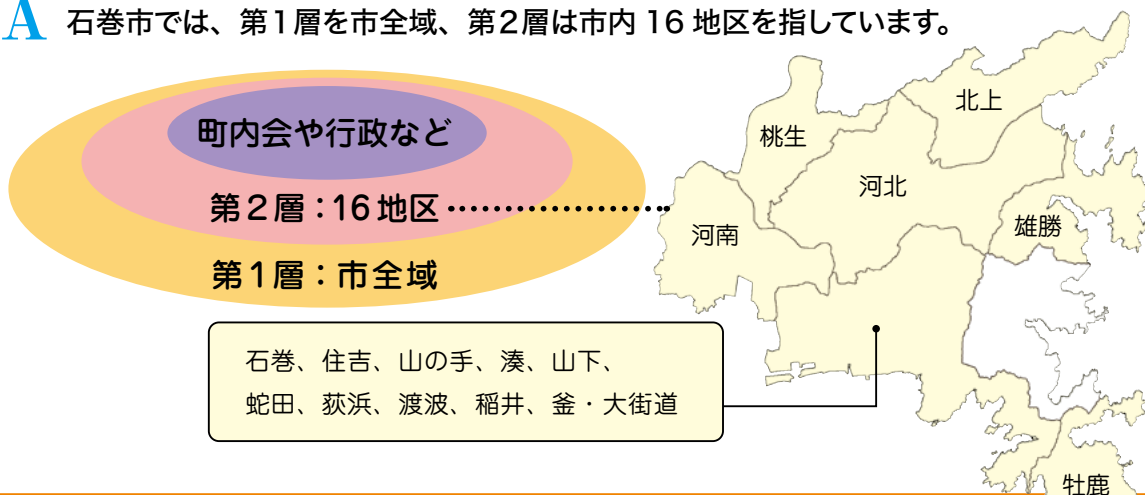
- ①生活支援コーディネーターの配置  
市全域（第1層）に1名、  
市内16地区（第2層）に13名のコーディネーターを配置しています。
- ②支え合いの地域づくりを進める「話し合いの場」の設置（第2層協議体）  
地区ごとに話し合いの場が作られ、支え合いの取り組みが進められています。

### Q この事業によく「層」って言葉が出てくるんだけど？

**A** 「層」は、地域の“範囲”を示す言葉なんです！

### Q 第1層や第2層ってどの範囲のことなの？

**A** 石巻市では、第1層を市全域、第2層は市内16地区を指しています。



地域活動や暮らしに関する悩みごとなど、  
気軽に各地区担当のコーディネーターにご相談下さい。

お問い合わせ

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

TEL 0225-24-8509

FAX 0225-96-5223

E-mail: csc@ishinomaki-shakyo.or.jp

地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号  
石巻市ささえあいセンター3階